

品川区地球温暖化対策地域推進計画のCO2排出実績について

①平成 25 年度実績

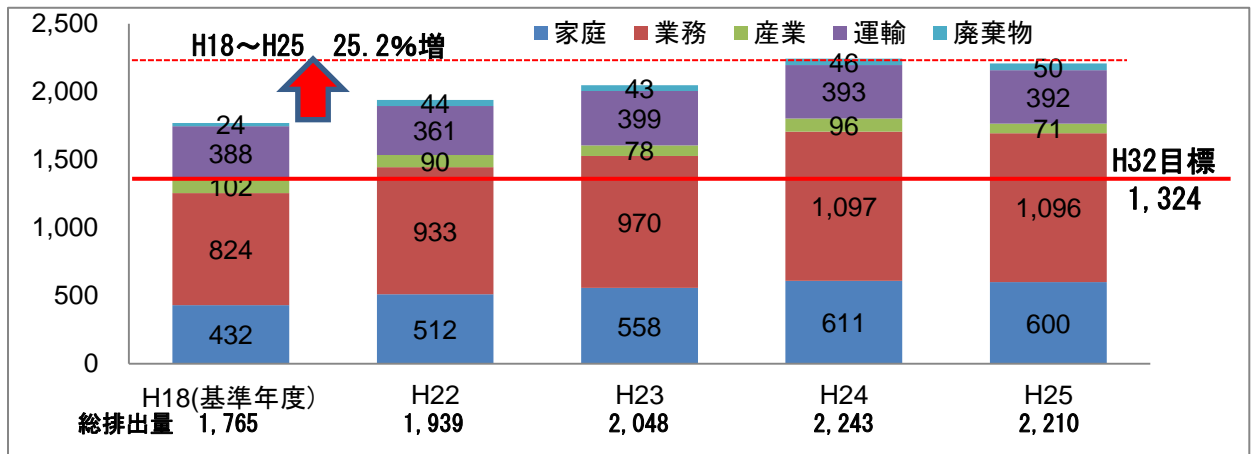
品川区地球温暖化対策地域推進計画は、品川区全体の二酸化炭素（CO2）排出量を管理するものです。（家庭・業務・産業・運輸・廃棄物の各部門の合計）

- ・ 計画期間／平成 22～32 年度 ・ 目標／排出量を 25 %削減
- ・ 基準年度・基準値／平成 18 年度・1,765 kt-CO2
- ・ 目標年度・目標値／平成 32 年度・1,324 kt-CO2

※特別区協議会が集計・算出したデータの提供を受けて算出しているため、今年度提供を受けた平成 25 年度の実績を報告します。

②実績と分析

平成 25 年度の CO2 排出量は 2,210 kt-CO2 で基準年比 25.2 %増 となりました。（これまでの推移は以下のグラフのとおりです。）



〔各部門の推移と対策〕

品川区は都市部にあるため、家庭・業務（第三次産業）の部門の占める割合が高く、かつ増加傾向が続いていましたが、平成 25 年度は僅かに減少しました。

今後も両部門に重点を置いて、太陽光発電や LED 照明の設置助成等を行うとともに、イベントや講座を通じて区民・事業者への地球温暖化対策への意識啓発を進めていくことが有効と考えられます。

〔増加要因〕

CO2 排出量の増加は、東日本大震災以降、電気の CO2 排出係数の上昇傾向が続いたことによるものです。

※CO2 排出量計算方法

各エネルギー使用量（電気・ガス・その他燃料）×（CO2 排出係数）の合計

- ・ エネルギー使用量の合計は、基準年度より 18.72%減少

H18 25,745 → H25 20,928（熱量換算して比較 単位 TJ・テラジュール）

- ・ 電気のみ排出係数が 51.3 %上昇（H18 0.345 → H25 0.522 / 単位 kg-CO2/kWh）

電気は、エネルギー使用の 49.2%を占めるため、CO2 排出係数の上昇が総排出量に大きく影響しています。（ガス・その他燃料は係数変動なし）